

**プロ・ハイアマチュアの高品位な作品づくりを強力にサポート  
新インク採用の A3 ノビ対応インクジェットプリンター 2 機種を発売**

キヤノンは、プロ・ハイアマチュアフォトグラファー向けインクジェットプリンターの  
新製品として、10色顔料インク搭載モデル“PRO-G1”と、8色染料インク搭載モデル“PRO-S1”の  
2機種を11月中旬に発売します。



PRO-G1



PRO-S1

新製品は、プロからハイアマチュアまで幅広いフォトグラファーが撮影した写真を、作品として  
高画質・高品位に、かつ高い生産性で印刷したいというニーズに応えた、顔料モデルと染料  
モデルの2機種です。両機種とも新開発インクを採用し、色の再現領域を拡大するとともに、  
従来機種<sup>※1</sup>の優れた操作性や機構を継承しながら高速プリントを実現しています。さらに、  
「Professional Print & Layout」等の各種ソフトウェアにも対応し、生産性の向上に寄与しながら  
高品位な作品づくりを強力にサポートします。

**■ 新開発の顔料／染料インク採用により黒濃度の向上と高い色再現性を実現**

“PRO-G1”は、新開発のマットブラックインクを含む10色顔料インク「LUCIA PRO」を  
採用しています。マット紙やファインアート紙への印刷における黒濃度が向上し、暗部の階調性や  
色の再現領域が拡大することで、表現力豊かな作品が印刷できます。また、“PRO-S1”は、  
新開発のマゼンタとブラックを含む8色染料インクを採用することで、レッドやブルーの色域と  
暗部の色再現性が拡大するとともに、黒濃度の向上も実現しています。

**■ 高速印刷の実現と印刷ワークフローを効率化するソフトウェア・アプリ対応**

“PRO-G1”は、A3 ノビ／フチあり／カラーの印刷速度を従来機種より1分以上短縮し、  
約4分15秒で高速にプリント<sup>※2</sup>できます。また、2機種とも、「imagePROGRAF PRO」シリーズ用  
として幅広いユーザーから高い評価を得ているキヤノンのPC用印刷ソフトウェア「Professional  
Print & Layout」に対応し、「EOS」シリーズ<sup>※3</sup>で撮影した画像を忠実に再現して印刷することが  
可能です。その他、PC用ソフトウェア「Media Configuration Tool」等の各種ソフトウェアや  
アプリへの対応を充実させることで、印刷ワークフローの効率化を実現しています。

製品名	希望小売価格	発売日
imagePROGRAF PRO-G1	オープン価格	2020年11月中旬
PIXUS PRO-S1		

※1 “PRO-G1”の従来機種は「PIXUS PRO-10S」(2015年2月発売)、“PRO-S1”の従来機種は「PIXUS PRO-100S」(2015年2月発売)です。

※2 「キヤノン写真用紙・光沢プロ [プラチナグレード]」使用時。「PIXUS PRO-10S」との比較において。測定環境は製品ホームページをご参照ください。

※3 キヤノンの一眼レフカメラ・ミラーレスカメラの「EOS」シリーズにおいて。対応する「EOS」シリーズの機種は製品ホームページをご確認ください。

●一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90015

●PRO LINE PRINTER ホームページ : [canon.jp/proline](http://canon.jp/proline)

## <主な特長>

### 1. 新 10 色顔料インクによる黒濃度向上と色域拡大 (“PRO-G1”)

- ・インクを材料から見直し新たに開発したマットブラックインクを含む、10 色顔料インク「LUCIA PRO」を採用。マット紙／ファインアート紙への印刷時に、マットブラックインクが用紙の表面に高密度に留まることで黒濃度の向上を実現。これにより、暗部の階調性やレッド／グリーン領域の色域が拡大し、作品の質感や奥行き感を精緻に表現することが可能。
- ・光沢紙／半光沢紙への印刷では、新開発の材料を使用したフォトブラックインクにより、黒濃度が向上し、暗部領域における繊細な階調表現を実現。
- ・透明インク「クロマオプティマイザー」により、印刷用紙表面の平滑性と光沢の均一性が向上し、光沢のむらとブロンズ現象<sup>※1</sup>を抑制することで、滑らかな仕上げと引き締まった暗部表現が可能。
- ・ファインアート紙／バライタ紙<sup>※2</sup>／和紙への印刷時に、用紙別のプリントモードを選択するだけで、それぞれの用紙の特性を最大限に引き出す印刷が可能。

※1 照明光が印刷表面上で乱反射することで、本来の色とは異なる偽色や金属光沢が付いて見えてしまう現象。

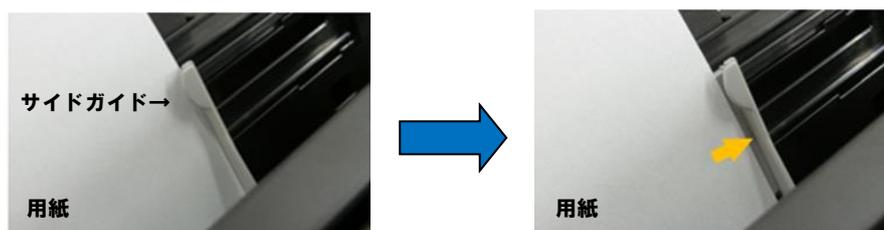
※2 写真用印画紙の 1 種で、銀塩写真の風合いを再現でき、黒濃度に優れているため、モノクロ写真に好適。

### 2. 新 8 色染料インクによる色再現領域の拡大 (“PRO-S1”)

- ・新開発のマゼンタ／ブラックインクを含む新 8 色染料インクを採用。染料インク特有の高い発色性と光沢性に加えて、黒濃度の向上とレッド／ブルー領域の色域拡大により、特に暗部で深みのある色再現が可能。
- ・ファインアート紙／和紙への印刷時に、用紙別のプリントモードを選択するだけで、それぞれの用紙の特性を最大限に引き出す印刷が可能。

### 3. 高速印刷と安定した用紙搬送を可能にする本体機構による高い生産性

- ・“PRO-G1”は、プリントヘッドの駆動を高速化することで、A3 ノビ／フチあり／カラーの印刷速度を従来機種より 1 分以上短縮した、約 4 分 15 秒で高速に印刷可能。また、“PRO-S1”は A3 ノビ／フチあり／カラーを約 1 分 30 秒で印刷可能<sup>※</sup>。
- ・“PRO-G1”には「ノズルリカバリーシステム」を採用。インクの吐出状態をセンサーで精密にチェックし、目詰まりを検知すると他のノズルからの吐出に自動的に切り替えてバックアップ。インクが目詰まりによる色抜けを防止し、安定した高画質印刷を可能にするとともに、ヘッドクリーニングの頻度を削減。
- ・2 機種ともに、後トレイ／手差しトレイからの給紙時に、用紙が斜めに入った場合にも自動でまっすぐに補正する「斜行補正機構」を搭載。また、「サイドガイド・スライド機構」の採用により、印刷動作を開始する際に、用紙のサイドガイドが外側へ自動で開き、用紙側面との隙間を確保することで、印刷中に用紙側面にかかる抵抗を緩和し、紙送り精度が向上。これらの本体機構により、プロ／ハイアマチュアフォトグラファーのニーズにも応える安定した出力と高生産性を実現。



印刷動作開始時に用紙のサイドガイドが自動で外側に開き隙間を確保 (イメージ)

※ いずれも「キヤノン写真用紙・光沢 プロ[プラチナグレード]」使用時。測定環境は製品ホームページをご参照ください。

- ・排紙トレイや後トレイなどの可動部分や部品分割を少なくすることで、堅ろう性を高めながら、こだわりの作品印刷を楽しむ機材として、高級感を感じさせる本体デザインを採用。
- ・2機種それぞれ、従来製品と比べ、本体幅を約 5cm 小型化<sup>※</sup>することで、設置場所の大幅な省スペース化を実現。

※ 従来機種「PIXUS PRO-10S/100S」の大きさ約 689 (幅) × 385 (奥行き) × 215 (高さ) mm に対し、「PRO-G1/S1」では約 639 (幅) × 379 (奥行き) × 200 (高さ) mm。いずれも背面給紙トレイ、排紙トレイ収納時。突起物含まず。

#### 4. 高画質な印刷とワークフローの効率化を実現するソフトウェア・アプリに対応

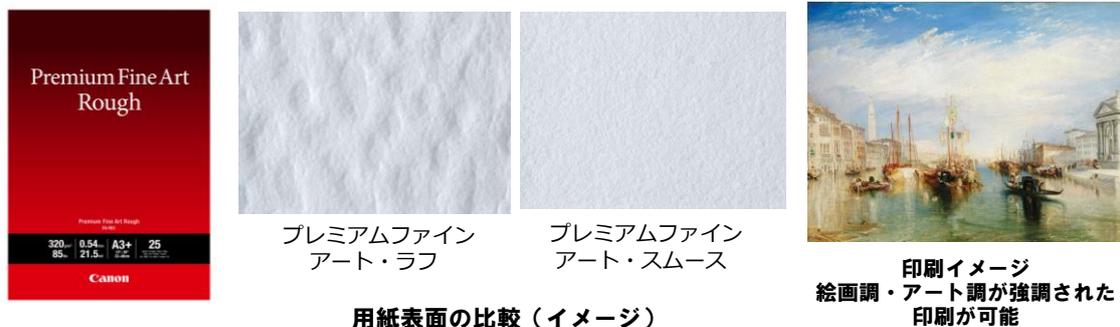
- ・大判インクジェットプリンター「imagePROGRAF PRO」シリーズ用として高い評価を得ているキヤノンの PC 用印刷ソフトウェア「Professional Print & Layout」に、対応用紙の最大サイズが A3 ノビのインクジェットプリンターとして初めて対応。ハイライト部の階調性や被写体の色味を RAW 画像から忠実に再現して印刷する「HDR プrint」や、強い照明環境下で展示する際、明部の色飛びや黒浮きを抑制しながら自然な見え方になるよう、ダイナミックレンジの広いプリントを実現する「展示照明最適化」など、キヤノンの入出力連携の基本コンセプト「Crystal-fidelity<sup>※1</sup>」に基づき、EOS シリーズと連携した高画質印刷が可能。
- ・「Professional Print & Layout」のバージョンアップ (Ver1.2) により、1 枚の撮影データを分割して印刷することも可能な「ギャラリーラップ」機能の追加のほか、用紙内での画像のセンタリングやヘッダー/フッター挿入などが新たに可能になり、作品制作の幅を広げながら印刷ワークフローの効率化をサポート。キヤノンのデジタルカメラ向け RAW 現像ソフトウェア「Digital Photo Professional」をはじめとする画像編集ソフトと連携することで、さらに効率的で多様なバリエーションの写真印刷を実現。
- ・各種用紙での印刷時の設定情報の作成や管理を行うことで、用紙ごとの高品位印刷を可能にするキヤノンの PC 用ソフトウェア「Media Configuration Tool」のバージョンアップ (Ver.1.4.5) に対応。「Media Configuration Tool」を起動することなく、PC のスタートメニュー<sup>※2</sup> から用紙追加ができるようになり、キヤノン純正用紙や他社製用紙を追加設定する際の利便性が大幅に向上し、さまざまな用紙において高品位で効率的な印刷を実現。
- ・キヤノンの写真編集・印刷アプリ「Easy-PhotoPrint Editor」や、スマホアプリ「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」にも対応しており、PC やスマホからの簡単印刷も可能。

※1 「Crystal-fidelity」とは、目に映る世界をありのままに再現することを意図したキヤノンの入出力連携の基本コンセプトです。レンズ交換式カメラ「EOS」シリーズとインクジェットプリンター「imagePROGRAF PRO」シリーズ、「PIXUS」シリーズによるシームレスな入出力連携ソリューションを実現し、限りなく 3 次元に近い 2 次元表現を可能にします。

※2 対応OSは製品ホームページをご参照ください。

## 5. 高品位な作品づくりをサポートする新発売の用紙 2 種類に対応

- ・「プレミアムファインアート・ラフ」(2020年9月10日発売予定)に対応。表面に強い凹凸のある上質な質感のファインアート紙。立体感と奥行き感のある印刷が可能で、写真や絵画を美術品のような風合いで印刷可能。



用紙表面の比較 (イメージ)

- ・「キヤノン写真用紙・光沢 プロ [クリスタルグレード]」(2020年9月10日発売予定)に対応。現行製品「キヤノン写真用紙・光沢 プロ [プラチナグレード]」(2013年10月発売)を上回る光沢感を実現。輝きのある光沢とくっきりとして鮮明な写実性を重視する作品づくりに好適。



用紙表面に反射する蛍光灯の比較 (イメージ)

- ・対応用紙サイズを従来機種から拡充。フチなし印刷も可能なパノラマ用紙サイズ (約 594mm×210mm) に新たに対応したほか、印刷方向に約 990.6mm までのサイズをユーザーが任意に指定して印刷することが可能\*。

\* 横幅は最大 A3 ノビサイズ (約 329mm) まで。印刷可能な縦の長さの最小サイズは、使用トレイなど、印刷設定状況によって異なります。

## <インクジェットプリンターの市場動向>

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2019年の出荷台数は国内では約386万台、全世界では約5,692万台でした\*1。2020年の出荷台数については国内では約353万台、全世界では約4,952万台と見込まれています\*2。

\*1 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2020Q1 Final Historical

\*2 出典：IDC, Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2020Q1 Forecast Release

## <主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。